

令和3年度美濃加茂市水道事業決算概要

① 業務実績について

令和3年度末における給水人口は、前年度と比較して146人(0.26%)減少したものの、給水件数は、前年度と比較して275件(1.53%)増加しました。要因としては、集合住宅の住民が転出した場合、人口は減少しますが、集合住宅の給水件数は1棟1件のまま減少しないことや、住宅の新築などにより口径13mm(前年度比196件増)及び口径20mm(前年度比59件増)などの家庭用の給水件数が引き続き伸びていることなどが考えられます。

また普及率は99.49%となり、前年度と比較して0.01ポイント増加しました。

	令和3年度	令和2年度	比較増減	増減率(%)
行政区域内人口(人) ①	57,016	57,171	△ 155	△ 0.27
給水人口(人) ②	56,726	56,872	△ 146	△ 0.26
給水件数(件)	18,233	17,958	275	1.53
普及率(%) ②/①	99.49	99.48	0.01	—

次に、年間配水量は、50,585m³(0.76%)減少、年間有収水量は、8,173m³(0.14%)減少しました。

また、有収率は、89.8%となり、前年度と比較して0.55ポイント増加しました。

	令和3年度	令和2年度	比較増減	増減率(%)
年間配水量(m ³) ①	6,635,554	6,686,139	△ 50,585	△ 0.76
年間有収水量(m ³) ②	5,959,028	5,967,201	△ 8,173	△ 0.14
有収率(%) ②/①	89.80	89.25	0.55	—

② 予算執行状況について(税込み)(※予算額と比較するため、税込み表示をしています。)

ア. 収益的収支(3条)

収益的収入は、予算に対し98.45%の収入率で、25,469,868円の減収となりました。

収益的支出は、予算に対し94.68%の執行率となり、翌年度繰越額34,045,000円を除く49,563,059円の不用額が生じました。

なお、納付消費税及び地方消費税額は、29,798,600円となりました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
水道事業収益	1,639,295,000	1,613,825,132	△ 25,469,868	98.45
営業収益	1,346,284,000	1,336,114,802	△ 10,169,198	99.24
営業外収益	293,011,000	277,710,330	△ 15,300,670	94.78

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
水道事業費用	1,572,702,000	1,489,093,941	34,045,000	49,563,059	94.68
営業費用	1,517,476,000	1,438,892,214	34,045,000	44,538,786	94.82
営業外費用	50,206,000	50,201,727	0	4,273	99.99
特別損失	20,000	0	0	20,000	0.00
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.00

イ. 資本的収支(4条)

資本的収入は、予算に対し107.7%の収入率となり、20,079,171円の増収となりました。この原因は、主に分担金の増収によるものです。

資本的支出は、予算に対し79.87%の執行率となり、翌年度繰越額13,548,000円を除く130,031,243円の不用額が生じました。この内訳は、建設改良費130,030,427円、企業債償還金816円です。

配水設備拡張費の執行額は、38,607,399円(令和2年度からの繰越事業を含む)で、主なものは、配水管布設工事(加茂野町加茂野工区)です。

配水設備改良費の執行額は、308,499,019円で、主なものは、配水管布設替工事(山手幹線第2工区、川合工区)、市道山手線外1路線舗装復旧工事です。

また、建設改良費の繰越として配水管布設工事(加茂野町今泉第2工区)等5件13,548,000円を翌年度へ繰越しました。

企業債償還金103,808,184円は、地方公共団体金融機構の24件と政府資金(財政融資資金)の19件の元金の償還金です。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額288,750,226円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 13,851,163 円、減債積立金103,808,184円及び過年度分損益勘定留保資金 171,090,879円で補てんしました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
資本的収入	260,934,360	281,013,531	20,079,171	107.7
負担金	39,001,360	27,169,531	△ 11,831,829	69.66
分担金	75,933,000	107,844,000	31,911,000	142.03
補助金	46,000,000	46,000,000	0	100.00
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0	100.00

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
資本的支出	713,343,000	569,763,757	13,548,000	130,031,243	79.87
建設改良費	495,534,000	351,955,573	13,548,000	130,030,427	71.03
企業債償還金	103,809,000	103,808,184	0	816	100.00
長期貸付金	114,000,000	114,000,000	0	0	100.00

③ 経営成績について(税抜き)(※経営成績を正しく表示するため、税抜き表示をしています。)

令和3年度の損益は、総収益1,496,657,172円に対し、総費用1,386,188,278円で、差し引き110,468,894円の純利益となりました。

ア. 収益比較

水道事業収益は、1,496,657,172円で、前年度と比較すると18,188,512円(1.2%)の減収となりました。営業収益は、1,214,776,642円、総収益の81.17%を占めており、科目別に前年度と比較すると、給水収益11,257,580円(0.95%)増、受託工事収益1,410,464円(74.85%)増、その他営業収益2,903,419円(15.76%)増で、全体では15,571,463円(1.3%)の増収となりました。

営業外収益は、281,880,530円で、前年度と比較すると、受取利息及び配当金370,366円(28.51%)増、他会計補助金8,000,000円(100%)減、他会計負担金100,000円(41.67%)減、長期前受金戻入益26,227,443円(8.71%)減、雑収益197,102円(4%)増で、全体では33,759,975円(10.7%)の減収となりました。

科目	令和3年度(円)	令和2年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業収益	1,496,657,172	1,514,845,684	△ 18,188,512	△ 1.20
営業収益	1,214,776,642	1,199,205,179	15,571,463	1.30
給水収益	1,190,151,935	1,178,894,355	11,257,580	0.95
受託工事収益	3,294,820	1,884,356	1,410,464	74.85
その他営業収益	21,329,887	18,426,468	2,903,419	15.76
営業外収益	281,880,530	315,640,505	△ 33,759,975	△ 10.70
受取利息及び配当金	1,669,554	1,299,188	370,366	28.51
他会計補助金	0	8,000,000	△ 8,000,000	△ 100.00
他会計負担金	140,000	240,000	△ 100,000	△ 41.67
長期前受金戻入益	274,944,088	301,171,531	△ 26,227,443	△ 8.71
雑収益	5,126,888	4,929,786	197,102	4.00

イ. 費用比較

水道事業費用は、1,386,188,278円で、前年度と比較して7,413,131円(0.54%)の増加となりました。

営業費用は、1,365,582,150円で総費用の98.51%を占めており、前年度と比較して、増加した科目は、配水及び給水費5,575,681円(4.87%)、受託工事費1,410,464円(74.85%)、総係費1,598,400円(1.55%)、減価償却費5,409,493円(1.05%)です。

一方、減少した科目は、原水及び浄水費181,608円(0.03%)、資産減耗費5,549,455円(11.38%)です。結果、営業費用全体としては、8,262,975円(0.61%)の増加となりました。

営業外費用は、20,606,128円で総費用の1.49%を占めており、前年度と比較すると、支払利息及び企業債取扱諸費で2,616,298円(14.13%)減、雑支出で1,766,454円(60.16%)増、営業外費用全体では849,844円(3.96%)の減少となりました。

なお、今年度は特別損失の計上はありませんでした。

科目	令和3年度(円)	令和2年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業費用	1,386,188,278	1,378,775,147	7,413,131	0.54
営業費用	1,365,582,150	1,357,319,175	8,262,975	0.61
原水及び浄水費	574,234,417	574,416,025	△ 181,608	△ 0.03
配水及び給水費	120,095,845	114,520,164	5,575,681	4.87
受託工事費	3,294,820	1,884,356	1,410,464	74.85
総係費	104,717,679	103,119,279	1,598,400	1.55
減価償却費	520,026,879	514,617,386	5,409,493	1.05
資産減耗費	43,212,510	48,761,965	△ 5,549,455	△ 11.38
営業外費用	20,606,128	21,455,972	△ 849,844	△ 3.96
支払利息及び企業債取扱諸費	15,903,384	18,519,682	△ 2,616,298	△ 14.13
雑支出	4,702,744	2,936,290	1,766,454	60.16
特別損失	0	0	0	—
災害による損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—

ウ. 単位当たり収益費用の比較

令和3年度の有収水量1m³当たりの収益、費用を前年度と比較すると次の表のとおりです。

有収水量1m³当たりのコストを費用別に前年度と比較すると、減少したものは、資産減耗費0.92円、支払利息及び企業債取扱諸費0.44円です。

一方、増加したものは、原水及び浄水費0.11円、配水及び給水費0.96円、総係費0.29円、減価償却費1.03円、雑支出0.3円です。

(単位:円/m³)

区分	収益		区分	費用	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
給水収益 (供給単価)	199.72	197.56	原水及び浄水費	96.37	96.26
			配水及び給水費	20.15	19.19
その他営業収益	3.58	3.09	総係費	17.57	17.28
受取利息配当金	0.28	0.22	減価償却費	87.27	86.24
他会計補助金	0	1.34	資産減耗費	7.25	8.17
他会計負担金	0.02	0.04	その他営業費用	0	0
長期前受金戻入益	46.14	50.47	支払利息及び企業債取扱諸費	2.67	3.11
雑収益	0.86	0.83	雑支出	0.79	0.49
小計	250.6	253.55	小計	232.07	230.74
受託工事収益	0.55	0.32	△長期前受金戻入益	△ 46.14	△ 50.47
合計	251.15	253.87	合計(給水原価)	185.93	180.27

エ. 人件費(職員給与費)

令和3年度の損益勘定職員給与費は、56,012,086円で、総費用に占める割合は、4.04%となっています。

職員給与費の給水収益に対する割合は4.71%で、前年度と比較して0.33ポイント低くなりました。職員1人当たり有収水量及び営業収益は、水道事業における労働生産性をもっとも端的に表すものといわれており、いずれの数値も令和2年度経営指標の約1.4倍以上となっています。

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	令和2 指標
損益勘定職員(人)	10	10	0	—
損益勘定職員給与費(円)	56,012,086	59,431,926	△ 3,419,840	—
職員1人当たり有収水量 (m ³)	595,903	596,720	△ 817	407,075
職員1人当たり営業収益 (千円)	121,148	119,732	1,416	71,272
職員1人当たり給水人口 (人)	5,673	5,687	△ 14	3,663

※職員及び職員給与費については、会計年度任用職員人数及び会計年度任用職員給与費を含む。
令和3年度10人(うち会計年度任用職員3人)、令和2年度10人(うち会計年度任用職員3人)

オ. 水道料金の収入状況(税込み)

令和3年度の水道料金収入状況は、次表のとおりです。

当年度分の収納率は、92.23%となり前年度と比較して0.16ポイント増加、過年度分の収納率は、95.55%で前年度と比較して0.15ポイント減少しました。

また、口座振替による入金は、月末振替翌月収納となるため、3月分の口座振替額(83,274,279円)を収入済みとみなすと、実質的には当年度分の収納率は、98.59%となり、前年度と比較して0.08ポイント減少しました。

区 分		令和3年度	令和2年度	増減額(円)	増減比(%)
当年度分	調定額(円)	1,309,124,252	1,296,741,327	12,382,925	0.95
	収入済額(円)	1,207,395,233	1,193,919,481	13,475,752	1.13
	収納率(%)	92.23	92.07	—	—
過年度分	調定額(円)	107,321,442	106,723,521	597,921	0.56
	収入済額(円)	102,400,748	102,088,698	312,050	0.31
	不納欠損	148,387	45,058	103,329	229.32
	収納率(%)	95.55	95.70	—	—

カ. 経営分析比率

収益性を示す総収支比率は107.97%で前年度と比較して1.9ポイントの減少、単年度黒字の目安となる経常収支比率は107.97%で前年度と比較して1.9ポイントの減少、上水道固有の事業に関わる営業収支比率は88.93%で前年度と比較して0.6ポイントの増加となりました。

(単位:%)

区 分	算 式	令和3年度	令和2年度	令和2指標
総収支比率	総収益/総費用×100	107.97	109.87	110.66
経常収支比率	経常収益/経常費用×100	107.97	109.87	110.91
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	88.93	88.33	97.37

④ 財政状態について

最近2年間の貸借対照表は、④－1表のとおりです。資産合計は、前年度と比較して81,258,724円減少しました。その内訳は、固定資産は107,367,979円減少し、流動資産は26,109,255円増加しました。

また、負債・資本の合計も81,258,724円減少しました。その内訳は、固定負債が99,747,109円減少、流動負債が1,680,952円減少、繰延収益が90,299,557円減少、資本金が101,191,886円増加、剰余金が9,277,008円増加しました。

④－1表

	令和3年度(円) (A)	令和2年度(円) (B)	比較増減(円) (A)－(B)	前年度比(%) (A)/(B)	構成比率(%)	
					令和3年度	令和2年度
固定資産	12,700,389,271	12,807,757,250	△ 107,367,979	99.16	84.73	84.99
流動資産	2,288,494,795	2,262,385,540	26,109,255	101.15	15.27	15.01
資産合計	14,988,884,066	15,070,142,790	△ 81,258,724	99.46	100.00	100.00
固定負債	680,106,049	779,853,158	△ 99,747,109	87.21	4.54	5.17
流動負債	372,567,224	374,248,176	△ 1,680,952	99.55	2.49	2.49
繰延収益	6,025,490,939	6,115,790,496	△ 90,299,557	98.52	40.2	40.58
資本金	6,667,694,165	6,566,502,279	101,191,886	101.54	44.48	43.57
剰余金	1,243,025,689	1,233,748,681	9,277,008	100.75	8.29	8.19
負債資本合計	14,988,884,066	15,070,142,790	△ 81,258,724	99.46	100.00	100.00

④-2表は、財務状態を示す指標です。

事業の安全性を見る視点として、自己資本構成比率については90%を超え、財務状況は安定しています。固定比率については100%を下回っており、流動比率(適正な比率は、200%以上)は、614.25%です。財務状況は安全かつ安定的な経営状態となっているといえます。

④-2表

区 分	算 式	令和3年度	令和2年度	令和2指標
固定資産構成比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	84.73	84.99%	86.56
固定負債構成比率(%)	$\text{固定負債} / \text{負債資本合計} \times 100$	4.54	5.17%	24.51
自己資本構成比率(%)	$\frac{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	92.98	92.34%	71.65
固定資産対長期資本比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	86.89	87.15%	90.01
固定比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	91.13	92.04%	120.80
流動比率(%)	$\text{流動資産} / \text{流動負債} \times 100$	614.25	604.52%	350.79

以上が令和3年度の事業概況であります。

「美濃加茂市新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向け、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から、気象・災害及び危機管理リスクを踏まえた対策の実施や、人口減少などの社会環境の変化を見通した事業運営の効率化を推進し、引き続き、安定給水能力の向上に努めてまいります。